

# HIO YOG

教区新報

発行所

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所  
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号  
(本願寺神戸別院内)  
電話 神戸 (078) 341-5949 (代)  
【編集】教区基推委広報部

2004.3 139号

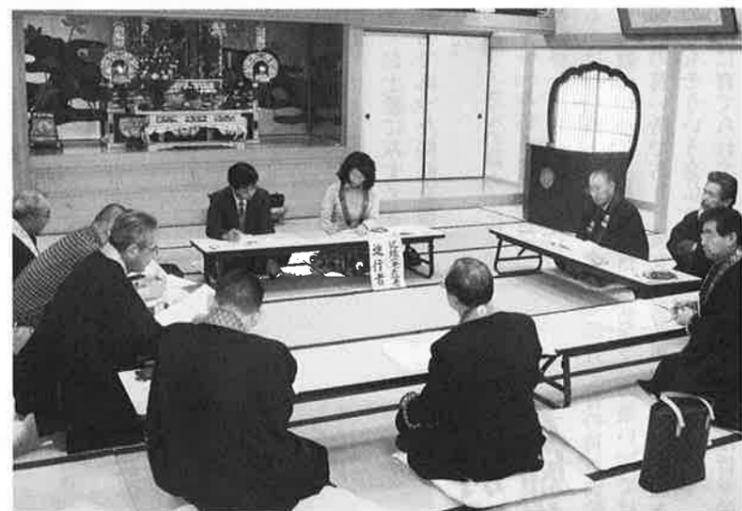
## 平成十六年度(第2回)

### 連研のための研究会

#### 話し合い法座の充実に向けて

本年度の「連研のための研究会」第二回が二月三日(火)神戸別院に於いて、「話し合い法座の充実に向けて」のテーマで開催された。出席者は組長、相談員、門徒推進員を

含む組連研従事者を始め、研修講師養成中央実習修了者、履修中の実習生及び教区基推委連研部会員の六十名。 「重誓偈」のお勤め後、井上博雄教務所長の挨拶により開会し、「赤穂北組の連研の取り組み」として増井浄見組長より、話し合い法座を取り入れた組連研の実施状況とその問題点などについて講義をしていただいた。法



車座になっての話し合い

とを大切にしていかなければならないとの指摘があった。昼食後、仏教音楽研究所の釋氏清子先生に仏教讃歌『娘たち』の指導をいただき、リラクスタイムを過ごして、午後の「話し合い法座の充実に向けて」の分科会に移った。話し合い法座での問題提起や司会進行のあり方について、連研部会長の問題提起を受けて、全員が五班に分かれ、それぞれの組の取り組みを踏まえて熱心に語り合った。分科会の報告では、問題提起は門徒推進員の意見も聞き、堅苦しくならないように配慮することが大切という意見や、司会進行を住職がする場合は、できるだけしやべらないようにしないと質疑応答になってしまうということや、話をスムーズに出してもらうには聞きあう姿勢を大事にしたいという意見が出され、話し合い法座を積極的に進めている阪神東組からは「かたくならず、やさしく、ありがたく」取り組みもとの提案も。

まとめとして藤榮行信連研部会より、話し合い法座の充実が僧侶と門徒の信頼関係を回復してゆく重要なポイントとなっていることの確認がされて閉会した。

神明組眞宗寺 宮里哲秀



懸念はして、たが、とうとう自衛隊が海外に派兵された。

さまざまに報道される中で特に気になったのは、小泉首相による、「自衛隊に感謝と敬意を払うように…」という発言である。日の丸・君が代の強制、靖国神社への参拝などといったこれまでの既成事実の積み上げによって、ここまで来たのかと思うと、背筋が冷たくなる思いがした。自衛隊の家族や地元市民が「無事に帰ってくるように」と黄色いハンカチを振ったりすると、派兵を支持しているかのように、国家はそれを巧みに利用する。基幹運動の重点項目に、平和・ヤスクニの問題が取り上げられているが、その根底には私たちの信心個人の内面が国家によって干渉・支配されてはならないという願いが込められていることを忘れてはならない。自衛隊員には悪いが、お気の毒とは思っても、感謝や敬意については、「お上」から強制されることは「お上」から強制されることではない。

杵築宏典

2004年10月31日(日)『兵庫教区御同朋総結集一万人大会』神戸ウイングスタジアム

4月3日(土)	第一土曜仏教講座 蘭田香融師	
7日(水)	別院仏婦総会・定例法座 講師:橋本博水師	
8日(木)	門推新旧幹事会	10:30~
9日(金)	近畿地区寺青野球大会	9:30~
14日(水)	教区基推委総会	10:30~
15日(木)	常例法座 九折舜壽師	16日まで
19日(月)	仏婦総連盟総会	
21日(金)	護寺口数調整委員会	13:00~
22日(木)	組長会	
23日(金)	寺婦新旧委員総会	10:30~
	少年連盟総会	
25日(日)	仏婦平和の日のつどい	
30日(金)	加古川組20周年	
5月1日(土)	門推の日	10:00~
	第一土曜仏教講座 中川 正文師	13:30~
7日(金)	近同推総会	本山にて
	寺院子弟沖繩研修旅行	9日まで
9日(日)	門推総会並びに研修会	10:30~
15日(土)	常例法座 水杉悟史師	13:30~
16日(日)	降誕会 水杉悟史師	13:00~
29日(土)	近畿ブロック連絡仏青協議会	京都教区
30日(日)	近畿ブロック連絡仏青協議会	京都教区

### 姫路にてコンサート



2月29日(日)を博してきた。姫路市文化センターにて「午後3部構成となっており、1部のコンサート(大谷師作曲)や最新作の「葬送歌」を独奏・重奏で、2部はモーツァルトやレハールの作曲のオペラ・アリア集、神戸別院協賛による仏教讃歌の大合唱となった。もあつて、多数の問い合わせがあり、整理券は全て無くなった。当日は遠近各地より500人が訪れ、ホールは満員となった。「本場に沢山の人が聞きに来てくれてありがたい」と大谷師。「綺麗な音色と男性(バス)の歌う南無阿弥陀仏のお念仏が心地よかった」と芦屋市の男性。

### おしゃかさまの「じどもたちへ」

この度、兵庫教区保育連盟より「じゅうがちょう」を発行いたしました。お釈迦様のご一生を6時代にわたった、かわいいぬり絵の自由画帳。ぜひ、1ページのぬり絵が終わったら、その場面をお子さまにお話ししてあげてください。お寺から子ども達へのプレゼントや、保育園などでの教材としてご利用下さい。



### 敬 弔

- 藤堂晋然(播磨東組蓮光寺 前任住職) 1月28日、88歳で往生
- 池谷嘉法(神戸西組佛心寺 前任住職) 1月28日、94歳で往生
- 佐藤壽子(岡山南組源照寺 衆徒) 2月4日、86歳で往生
- 福田慶哉(高砂組西蓮寺 前任住職) 2月5日、92歳で往生
- 中村つね(神戸西組勝光寺 前坊守) 2月8日、91歳で往生
- 大西正憲(神戸西組眞宗寺 前々住職) 2月9日、94歳で往生
- 原 國子(朝来組金蔵寺前坊守) 2月11日、93歳で往生
- 佐々木美子(阪神北組圓行寺前坊守) 2月15日、90歳で往生
- 渡辺恵祐(姫路南組正光寺 住職) 2月23日、89歳で往生
- 大髭茂雄(揖龍西組照圓寺 衆徒) 2月24日、90歳で往生
- 東井義臣(出石組東光寺住職) 3月3日、61歳で往生
- 西木俊子(揖龍西組照圓寺 前坊守) 3月6日、90歳で往生
- 安田みゆき(安栗組光明寺 前坊守) 3月9日、89歳で往生

※3月10日現在

2004年10月31日(日)『兵庫教区御同朋総結集一万人大会』神戸ウイングスタジアム

# 金子みすゞ ～ゆかりの地を たずねて～



鯨墓にて

釋氏智洋

青年僧侶の会が発足して  
おかげさまで今年度二十五  
周年を迎える事となり、青  
年僧侶の会二十五周年記念  
事業の一環として、去る一  
月二十九日～三十日の二日  
間、一泊二日の日程で、大  
正時代末、慧星のように輝  
いた童謡詩人金子みすゞさ  
んの故郷、山口県は長門市  
仙崎をはじめ、みすゞさん  
ゆかりの地を当初の人数よ  
り少なくはなりましたが、  
十七名の参加者と共に訪ね  
て参りました。

今回の旅行のテーマは、  
青僧会の第六回連続研修会  
の講師で童謡詩人の矢崎節  
夫先生の「みんなちがって  
みんないい」二十一世紀の  
まなざし「金子みすゞ」と  
いう演題でご講演を頂いた  
という事をご縁でありまし

初日は、向岸寺の鯨墓  
―金子みすゞ記念館―遍  
照寺。二日目は、西念寺  
―青海島海上遊覧船みすゞ  
コース詩跡めぐりという日  
程でした。特に印象的だっ  
たのが鯨墓です。鯨墓とは  
一六九二年に鯨組網頭の手  
によって建てられた鯨のた  
めの墓で、高さ二・四メー  
トルの花崗岩の正面上部に  
「南無阿弥陀仏」下部にク  
ジラを供養する言葉が刻ま  
れています。墓の後の空地  
には、六十数体のクジラの  
胎児が埋葬されているそう  
です。

また、みすゞさんのお墓  
のある遍照寺ではお勤めの  
後ご法話を頂きました。み  
すゞさんが祖母のウメさん  
に連れられてお参りに来て  
いた頃の話など聞かせて頂



顕彰活動の様子

## 神戸別院

### 若婦集いに参加して

二月一日の神戸別院での  
「若婦人の集い」では、久  
堀弘義師の講義を聞きまし  
た。

仏教の講義は哲学的で難  
解なものと思っていました  
が、久堀先生は筋道を立て  
てわかりやすい例をあげな  
がら話して下さい、今まで  
うわべだけを読んでいた「仏  
教婦人会綱領」の言葉の数々  
も深い意味をもつ事に気づ  
きました。

生涯阿弥陀さまに向かっ  
て聞法され、真実を求めて  
生き抜かれた親鸞聖人。そ  
の様子話をされる先生もま  
た、私には親鸞さまのよう  
に思えてなりませんでした。  
また、地球上の生物が三  
千万種類もある中で、人間  
として生まれる事の尊さを  
教えてくださいました。だ  
からこそ、自分の命を大切  
にし、あらゆる人の存在も  
大切に思い、そして、物言  
わぬ他の生き物も守り、共  
存しようとする謙虚な気持  
ちを忘れてはならないと思  
いました。

神戸別院は私が描いてい  
た「お寺」のイメージとは  
違っていて、神戸の町並み  
に調和した現代的な建物で  
した。優雅な美しいお寺で  
の充実した講義。学ぶ事の

最終回となりました。皆様  
のご理解、ご協力により多  
数のご参加いただきました  
こと誠に有難うございま  
した。今後も当会では、この  
ような仏法に出会い、お念  
仏を喜ぶ研修会を開催して  
まいりたいと思います。今  
後もご協力、ご参加賜りま  
すようお願いいたします。  
／少年指導者研修会 ◆22日  
／単位仏社会長・寺院仏社  
代表者研修会、「念仏の声  
を世界に子や孫に」のテー  
マで開催され、午前の部の  
講師には、ことばの教室「雪  
ん子劇団」の雪山玲子師、  
午後の部には武蔵野大学教  
授野の山崎龍明師をむかえ、  
約300名の参加があった。  
／仏青第2回定例会 ◆23日  
／近同推会員研修会、奈良  
にて／少年役員会 ◆24日  
／ビハラー1泊研修会、城崎  
にて ◆基推委、本山にて ◆27  
日 ◆連研履修者研修会・講  
師福岡教区御笠組願心寺・  
中川清昭師 ◆講題「全員開  
法・全員伝道」／矯正、加  
古川学園教誨・篤面 ◆28日  
／仏婦、近畿担当打ち合わ  
せ会、29日まで

# 布教大会に三百二十人の参拝

## HO日誌

◆1月7日 播磨学園教誨  
◆8日 青僧会、役員・顧  
問会 ◆9日 加古川学園成  
人式、所長出席 ◆12日 別  
院参拝、山陰教区浜田組蓮  
敬寺 ◆13日 解放同盟兵庫  
県連新春荆冠旗びらき、神  
戸ラッセルホールにて／別  
院参拝、東海教区中勢組総  
代会研修旅行 ◆別院常例法  
座、講師は北撰組安樂寺・  
佐々木智見師、講題は「た  
だ念仏して」16日まで ◆17  
日 阪神・淡路物故者総追  
悼法要、「いのち」を考え  
る研修会、講師は養老孟司  
氏／別院参拝、大阪教区仏  
教壮年会連盟 ◆18日 仏青、  
第1回定例会 ◆19日 仏婦、  
委員総会新年会 ◆20日 ビ  
ハラー・社推協合同役員会  
／別院仏婦報恩講、講師は  
別院輪番・井上博雄師、講  
題は「聴聞のこころ」／播  
磨学園新施設祝賀会 ◆22  
日 第8回日校指導者連続  
研修会／第3連区ビハラー

研修会、鷲森別院にて ◆23  
日 加古川学園教誨・篤面  
◆26日 寺婦、委員総会新  
年会 ◆29日 青僧会25周年  
記念事業「金子みすゞ」山  
口にて

◆2月1日 仏婦、若婦人  
のつどい ◆2日 社推協、  
施設訪問、出石はこべの家  
共同作業所にて ◆3日 第  
2回連研のための研究会 ◆  
4日 第2回布教団布教大  
会、1階ホールにて

昨年初めての試みで行わ  
れた兵庫教区布教団主催の  
第2回布教大会が神戸別院  
にて開催された。

井上博雄団長挨拶で開会さ  
れ、4時頃まで団員8名に  
よる熱心な布教をいただいた。

閉会には、多田満之副団長  
より挨拶をいただき、昨年  
より100名程参拝者が増  
え、約320人が恩徳讃を  
唱和した。

お昼には、おにぎりが振舞  
われ、参拝者の法悦と暖か  
い接待で満腹になり、笑顔  
の老若男女が見つけられた。  
懇話もたくさん頂戴したこ  
とは主催者としてもありが  
たく感謝している。

今回ご出向いただいた講  
師は次の通りです。  
▼神明組慈照寺・藤田眞哲  
師「よび覚まされた中味」  
▼神姫組光明寺・長谷都子  
師「聞くということ」▼宍  
粟組妙福寺・安林教正師「お  
ほやうなれどもおどろきや  
すきなり」▼網干組善徳寺・



熱心に講義される様子



お話しをされる長谷都子師

望月覚哉師「私の宝くたニ  
シの親子に学ぶ」 ◆多可  
組西福寺・山本浄彦師「他  
を尊ぶこころ」 ◆神戸湊組  
行願寺・久堀弘義師「無明  
長夜の灯炬なり」 ◆阪神南  
組浄元寺・宏林晃信師「ま  
よいとすくい」 ◆岡山北組  
報恩寺・川端正道師「つね  
の仰せ」 (出向順)

◆5日 総結集準備小委員  
会／基推委、常任委員会 ◆  
6日 第9回日校指導者連  
続研修会 ◆7日 まことの  
保育研修会／第一土曜仏教  
講座、講師は淡路組智徳寺・  
藤榮行信師、講題は「大い  
なるはたらき」／全国真宗  
青年の集い近畿ブロック連  
絡協議会、津村別院にて ◆  
8日 教区門推研修会(担  
当・神明組門推) 講師大西  
耕雲師、講題は「御同朋の  
社会を目指して」七〇名参  
加 ◆9日 都市開教推進部  
会 ◆12日 第3回常備会／  
近畿教区会義長会、京都に  
て／新任教誨師研修会、本  
願寺にて13日まで ◆13日  
ふじの里もちつき大会／連  
区教区相談員研修会 ◆15日  
別院常例法座、講師は阪  
神西組浄専寺・藤岡良治師、  
講題は「信心の道を大切に  
思われるお方へ」16日まで  
／神戸別院責役総代会／財  
産管理委員会 ◆17日 第3

## 僧侶研修会に 富田氏講演